

つなげているのは世界
支えているのは社会



株式会社 TVE

4Q

2022年9月期 財務ハイライト (連結)

POINT

1

主力であるバルブ事業において、九州電力、関西電力の原発で定期検査工事が完了し売上計上しましたが、前期に比べ、定期検査工事件数、再稼働前点検工事等の案件が減少し、火力発電案件についても大型案件がほとんどなく、前年同期に比べ売上高は減少しました。

2

バルブ事業における大幅な売上高の減少に加え、特に製鋼事業において材料高騰の影響を著しく受け、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ減少しました。

売上高

8,514 百万円

前年同期比 18.5% 減

営業利益

△ 86 百万円

前年同期比 —

経常利益

27 百万円

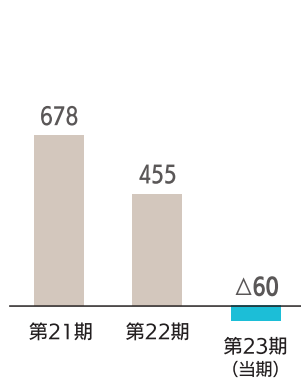
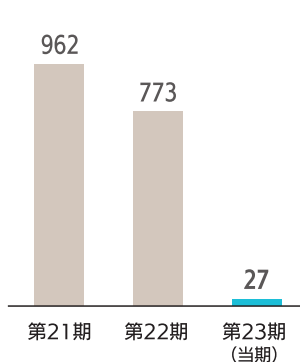
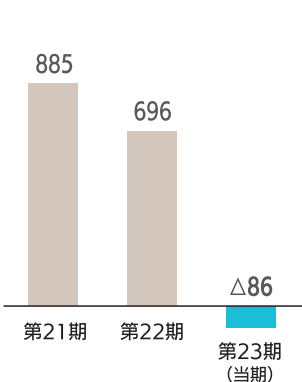
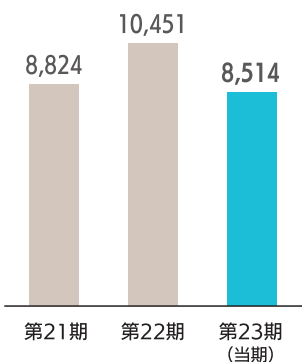
前年同期比 96.4% 減

親会社株主に帰属する当期純利益

△ 60 百万円

前年同期比 —

(単位：百万円)



2023年9月期の見通し

売上高

9,000 百万円

前期比 5.7% 増

営業利益

100 百万円

前期比 —

経常利益

150 百万円

前期比 439.9% 増

親会社株主に帰属する当期純利益

105 百万円

前期比 —

配当について

第23期の配当につきましては、
1株当たり25円とさせていただきます。
(内訳：普通配当15円、創業100周年記念配当10円)

年間
50円

● 詳細な財務情報は、
当社ホームページをご覧ください
<https://www.toavalve.co.jp/>





101年目の挑戦！ 今日を超えたモノづくり。



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当期(第23期・2022年9月期)の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

既にご承知の通り、当期は減収・減益の赤字決算となりました。依然として続く原子力発電所への慎重な姿勢と、石炭火力発電所への投資抑制から、特にバルブ製品の受注が伸び悩み、加えて海外市場についてもコロナ禍からの立ち上がりの遅れにより十分な営業活動ができず、業績は大きく後退することとなりました。

他方、材料等資源高の影響は、特に製鋼事業において深刻で、売上は伸びつつも採算は悪化している状況から、早急な製品価格への転嫁が課題となっています。

「100周年を売上100億円で」と掲げた目標は、一年前倒しで達成することができましたが、肝心の100周年の業績が赤字となり、株主の皆様のご期待に添うことができず、深くお詫び申し上げます。

当期の期末配当につきましては、当初の方針通り、創業100周年記念配当を含め、1株当たり25円とさせていただきます。

主力市場である原発の再稼働が一巡した現在、再稼働のための、いわゆる特需的案件は今後期待できない状況から、原子力関連売上はしばらくの間、低位安定的な受注・売上で推移する見通しで、中長期的視点に立った安定配当政策が、より重要な時期にあると考えております。株主の皆様のご理解をいただきたく存じます。

さて、昨今のエネルギー情勢に鑑み、長期的には原子力発電への期待が高まりつつあり、当社もこれに高い関心をもって推移を見守っております。しかし、長く新規建設が途絶えている影響から、技術伝承という原子力業界が抱える問題は当社においても例外ではなく、今後の事業継続性に大きく影響しかねない深刻な課題となっています。

これに限らず、南海トラフ大地震への備えやDX化の推進など、時流の課題が山積みですが、電力という重大インフラを支える一員としての責任を全うするため、そして株主の皆様のご期待に添うため、業績の改善・安定化に取り組んで参る所存です。

株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役
社長執行役員

逆野幸用

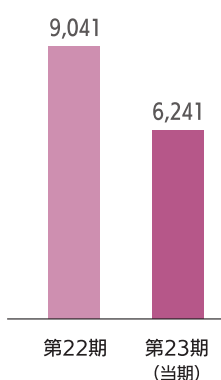
4Q セグメント別の概況

バルブ事業

売上高 **6,241** 百万円

セグメント利益 **1,096** 百万円

売上高推移
(単位：百万円)



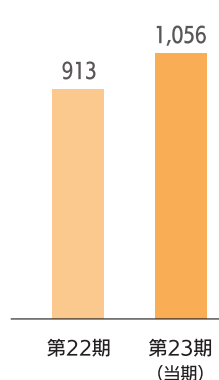
九州電力川内原発1号機・2号機、同玄海原発4号機、関西電力高浜原発3号機、同大飯原発4号機、同美浜原発3号機で定期検査工事が完了し売上計上しましたが、これら以外には火力発電所向けを含め大型案件が乏しく、売上高は62億41百万円(前年同期比31.0%減)、利益も10億96百万円(前年同期比38.7%減)となり、前年同期に比して大幅な減収減益となりました。

製鋼事業

売上高 **1,056** 百万円

セグメント利益 **△341** 百万円

売上高推移
(単位：百万円)



一部顧客からの受注が安定的に推移した結果、売上高は10億56百万円(前年同期比15.7%増)となりましたが、材料の仕入価格の高騰などの影響もあり、利益は3億41百万円の赤字(前年同期は2億31百万円の赤字)となり赤字幅は前期に比し拡大しました。

TOPICS

01

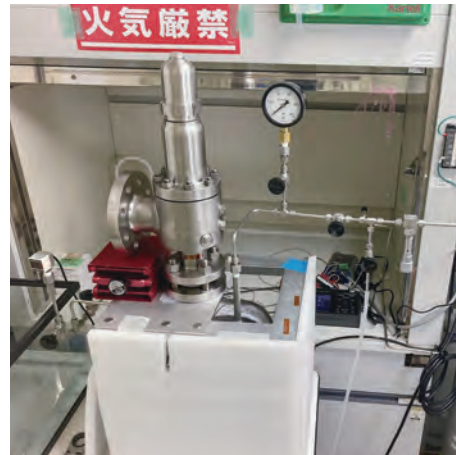
液化水素用安全弁への挑戦

現在、「次世代に対応できる新たな技術」の取り組みとして、プラント設備での採用を視野に、液化水素用安全弁の開発に着手しています。

要求仕様は、水素の沸点である-253℃の温度下で、最高使用圧力3.4MPaと最低圧力0.3MPaの2種類。当該安全弁の製作仕様は、弁座口の径が17mmと21mmの各2台で、合計4台となります。

本件は、低温圧試験条件であることから自社の設備では検証試験ができないため、外部機関を借りて試験を実施しました。まずは安全性を考慮して、水素の代わりにヘリウムガスを液体窒素で冷却して試験を実施することとなりました。口径ごとの各種条件において、作動検査、漏れ検査のいずれもJIS規格を満たし、終わることができました。

今後は、課題である安全弁本体の軽量化を実現し、か



つ液化水素下での最終試験においても健全性を確認するとともに、他分野での水平展開を含め、持続ある改善開発に取り組んでまいります。

TOPICS

中期経営計画

02

TAMES-DX ITリテラシーの向上と活用

TAMES-DXとは、当社の業務改善活動であるTAMES活動とDX(デジタル・トランスフォーメーション)、つまりデジタル技術を取り入れた当社ビジネスの変革・向上活動のことです。2021年4月に選抜メンバーが各々掲げた課題を推進し、同年7月15日に全社発表会を実施。全社DXのパイオニアの活動を開始しました。

デジタル技術やITを活用して従来の業務体系を見直

し、最適化を行うことで、工数削減や作業の効率化、正確性の向上といった効果が確認されました。

同年10月には、活動をさらに強化するため目標設定を行い、それらを軸に各部門のデジタル改革を推進するためにプロジェクトへと格上げしました。引き続き基本理念を掲げ、活動を強化、継続してまいります。

電気設備関連事業

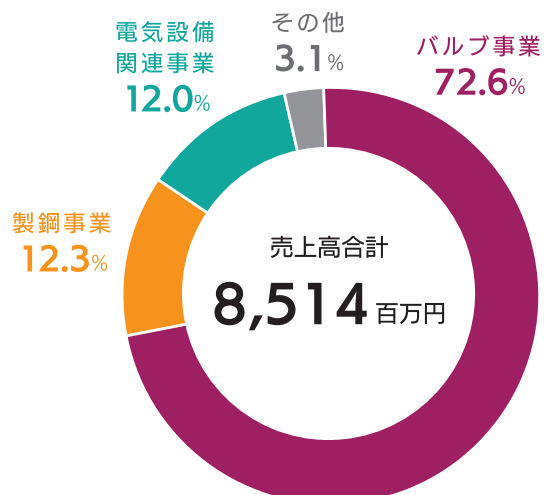
売上高 **1,032** 百万円
セグメント利益 **86** 百万円

当連結会計年度から報告セグメントに追加した本事業は、2022年1月より新たに子会社となった太陽電業株式会社における事業で、原発における設備・放射線計測器類の保守や電気設備工事などを主に行っており、売上高は10億32百万円、利益は86百万円となりました。

その他

売上高 **265** 百万円
セグメント利益 Δ **38** 百万円

前連結会計年度まで報告セグメントとしておりました除染事業は、地域除染事業の規模縮小により、売上高、セグメント利益が少額となったことから、当連結会計年度の期首より、その他に含めて表示しております。



会社の概況

(2022年9月30日現在)

商号	株式会社TVE
英文	TVE Co., Ltd.
証券コード	6466
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
設立日	2000年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、 各種バルブのメンテナンス業務
従業員	298名（連結412名）

株主総会決議ご通知に関するお知らせ

第23回定時株主総会の決議結果につきましては、当社webサイト (<https://www.toavalve.co.jp>) での開示をもちまして決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
中間配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.toavalve.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	10,040,000株
発行済株式の総数	2,461,600株
株主数	1,646名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社キッツ	302,200	12.95
西華産業株式会社	203,200	8.71
株式会社UH Partners 2	183,700	7.87
光通信株式会社	171,400	7.34
TOA取引先持株会	99,400	4.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	83,900	3.59
株式会社UH Partners 3	77,800	3.33
NCSN-SHOKORO LIMITED	76,200	3.26
株式会社エスアイエル	54,700	2.34
前島崇志	47,600	2.04

※当社は自己株式127,547株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役員

(2022年12月23日現在)

監査等委員以外の取締役

代表取締役	笹野 幸明
取締役	飯田 明彦
取締役	角谷 正昭
取締役	三宅 利幸
取締役	奥井 一史

監査等委員である取締役

取締役	田中 博之
取締役(社外)	浜本 光浩
取締役(社外)	生川 友佳子

TVE 株主通信アンケート

株主通信をより良いものとするため、当社では株主アンケートを実施しております。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただくか、QRコードを読み取っていただき表示されるアンケートへご回答ください。

<https://forms.gle/JDyRrK6fr5imT4TH6>



ご回答いただきました方の中から抽選で当社100周年のロゴの入ったタンブラーをお送りいたします。当選の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

アンケート実施期間：2023年2月28日まで